

— [2003] 中村勝巳訳『光はトリノより』青土社  
 ヘルゲゼ, S [1969] 岡部史郎訳『イタリヤ憲法入門』有斐閣  
 松浦保他 [1968] 『イタリヤ経済』東洋経済新報社  
 松島教茂 [1985] 『経済から社会へ——パレットの生涯と思想』みすず書房  
 松田博 [1980] 『イタリヤ・レジスタンス史ノート——国民解放委員会の成立過程を中心に』  
 林基監修『階級闘争の歴史と理論』青木書店  
 — [2003 a] 『グラムシ研究の展開——グラムシ像刷新のために』御茶の水書房  
 — [2003 b] 『A・グラムシにおけるサルバルタンの生成に関する覚書』『立命館産業社会論  
 集』39-1  
 — 編 [1988] 『グラムシを読む——現代社会像への接近』法律文化社  
 — 他編 [1995] 『グラムシ思想のポリフォニー』御茶の水書房  
 ヴリネッテ, F・T [1985] 細川周平訳『未来派政治運動』『ユリイカ』17-12  
 ヴルヴェッツ, P 他編 [1983] 河島英昭他訳『イタリヤ抵抗運動の遺書 (1943・9・8-1945・  
 4・25)』富山房  
 三浦逸雄 [1980] 『ジェンテイルの行動的イデオロギ』『日伊文化研究』18  
 ミジエール, H [1978] 長谷川公昭訳『フランスズム』白水社  
 皆村武一 [1985] 『イタリヤの戦後改革——戦後経済序説』晃洋書房  
 ムッソリーニ, R 他 [1980] 谷亀利一訳『素顔の独裁者——わか夫ムッソリーニ』角川書店  
 村上信一郎 [1974] 『ルイジ・ストゥルツォの政治思想と非宗派性の問題』『イタリヤ学会誌』  
 22  
 — [1976] 『イタリヤ・ナショナリズム運動と宗教』『日伊文化研究』18  
 — [1977] 『ムッソリーニの転向と反教権主義』『イタリヤ学会誌』25  
 — [1979] 『イタリヤにおけるフランスズム研究——デ・フェリッチェ『フランスズムについて  
 のインタヴュー』をめぐる論争を中心に』『西洋史学』113  
 — [1986] 『政治危機とフランスズム体制』『国際研究』(中部大) 3  
 — [1989] 『権威と服従——カトリック政党とフランスズム』名古屋大学出版会  
 村上義和 [1981] 『イタリヤにおけるイデオロギズムと法史学——B・クローチエについて』『法  
 経研究』(静岡大) 30-1  
 山口定 [1979] 『フランスズム』有斐閣  
 山崎功 [1972] 『フランスズム体制』御茶の水書房  
 山田薫 [1995] 『デ・カスベリ体制』『南欧文化』16  
 — [2002] 『イタリヤ共産党と戦後民主主体制の形成——トリアッテの政治戦略の展開  
 (1943年-1948年)』シーエービー出版  
 ラカー, W [1997] 柴田敬二訳『フランスズム 昨日・今日・明日』刀水書房  
 リンス, J [1995] 高橋進他訳『全体主義と権威主義体制』法律文化社  
 ルッス, E [2001] 柴野均訳『戦場の一年』白水社  
 — [2004-05] 柴野均訳『ローマ進軍とその周辺』(1)(2)『人文科学論集』(信州大) 38・39  
 レブレ, A [2000] 小原耕一他訳『囚われ人アントニオ・グラムシ』青土社  
 和田忠彦 [1997] 『フランスズムと笑』小岸昭他編『フランスズムの想像力』人文書院  
 渡会勝義 [1974] 『イタリヤの国家持株会社』『経済評論』23-7・8・9・10

第8章 スペイン近現代史研究の諸問題

〈研究の視点〉

アリエール, J [1992] 萩尾生訳『バンスク人』白水社  
 テリエール, J [1992] 萩尾生訳『バンスク人』白水社  
 池上孝夫他監修 [1992] 『スペイン・ホルトガルを知る事典』平凡社  
 ザイラール, P [1992] 藤田一成訳『スペイン史』白水社  
 — [1993] 立石博高/中塚次郎訳『スペイン内戦』白水社  
 樺山敏一 [1979] 『カタロニアへの眼——歴史・社会・文化』刀水書房 (1990, 中公文庫)  
 鈴木昭一 [1988] 『スペインの地域と国家——1978年憲法をめぐる議論』宮島喬/梶田孝道編  
 『現代ヨーロッパの地域と国家』有信堂  
 — [1991] 『カタロニア地域主義の政治的展開——自治政党 CDC の発展とジレソマ』宮  
 島喬/梶田孝道編『統合と分化のなかのヨーロッパ』有信堂  
 セスグ (画) / ローチ, M (文) [1990] 山道佳子他訳『発禁カタロニア現代史』現代企画室  
 立石博高編 [2000] 『スペイン・ホルトガル史』山川出版社  
 — / 関哲行/中川功/中塚次郎編 [1998] 『スペインの歴史』昭和堂  
 中塚次郎 [1990] 『アラゴン主義——スペイン国家とカタロニア主義の狭間』柴田三千雄他  
 編『シリアス世界史への問い 8 歴史のなかの地域』岩波書店  
 萩尾生 [1989] 『バンスク』『地域主義』における移民の存在』『スペイン現代史』6  
 長谷川貴士 [1985] 『独裁から民主主義へ——政党のダイナミクス』『六甲台論集』(神戸大)  
 32-3  
 坂東省治 [1997] 『スペイン・中南米関係文献目録』溪水社  
 リンス, J・L [1973] 『権威主義的政治体制——スペイン』E・アラルト/ J・リッテン  
 編, 宮沢健訳『現代政党論』而立書房  
 若松隆 [1991] 『体制移行の政治過程——スペインの事例を中心に』大童一男他編『戦後デモ  
 クラシーの変容』岩波書店  
 渡部哲郎 [1987] 『バンスク もうひとつのスペイン——現在・過去・未来』(改訂増補版), 彩  
 流社

〈欧文文献〉

Artola, M. 編 [1988-91] *Historia de España*, 7 vols., Alianza, Madrid.  
 — 編 [1988-91] *Enciclopedia de Historia de España*, 5 vols., Alianza, Madrid.  
 Bannassar, B. 編 [1985] *Histoire des Espagnols*, 2 tomes, Armand Colin, Paris.  
 Cortada, J. W. 編 [1982] *Historical Dictionary of the Spanish Civil War, 1936-1939*,  
 Greenwood Press, New York.  
 Kern, R. W. 編 [1990] *Historical Dictionary of Modern Spain, 1700-1988*, Greenwood  
 Press, New York.  
 Shields, G. J. [1985] *Spain*, Clio Press, Oxford.  
 Tuñón de Lara, M. 編 [1980-86] *Historia de España*, 13 vols., Labor, Barcelona.  
 — / Valdeón Barauque, J. / Domínguez Ortiz, A. [1991] *Historia de España*, Labor,  
 Barcelona.

<1> 16・17世紀の政治と社会  
五十嵐一成 [1975] 「16世紀新カステラーヤにおける諸村落の売却と村落自治」『史学雑誌』  
84-7

[1976] 「史料分析」16世紀後半の新カステラーヤにおける領主制の構造」『土地制度  
史学』70

[1978] 「ラエンテ・オベナーナの乱とサンタ・エルクワンダとを通じて見たカトリッ  
ク両王期カステラーヤ王権の性格」『紀要』(札幌大・教養) 13

[1979] 「1550年代カステラーヤの経済・財政危機」『紀要』14

[1981] 「研究動向」三つの〈スベインの衰退論〉をめぐる」『紀要』18

エリオット, J. H. [1982] 藤田一成訳「スベイン帝国の興亡 1469-1716」岩波書店

[1988] 藤田一成訳「リソユリヤーとオリバーレス——17世紀ヨーロッパの抗争」岩波  
書店

グリエジンスキ [2002] 竹下和亮訳「カトリック王国」『思想』937

ケーガン, R. L. [1994] 立石博高訳「夢と異端審問」松籟社

ケドゥリヤー, E. [1995] 関哲行/立石博高/宮前安子訳「スベインのユダヤ人」平凡社

坂本宏 [1998] 「トルドのアルノンテラード裁判(1524-40)」『スベイン史研究』12

芝修身 [1976] 「純血法 (Estatutos de Limpieza de Sangre)」『フカデミア 人文・自然科  
学編』(南山大) 26

[2003] 「近世スベインの農業」昭和堂

関哲行/立石博高編 [1998] 『大航海の時代——スペインと新大陸』同文館

立石博高 [1979] 「研究ノート」カステラーヤの「コムニダデス」反乱に関する諸研究」  
『史学雑誌』88-7

[2003 a] 「スベイン王国」成立に関する一考察」渡辺節夫編『ヨーロッパ中世の権力編  
成と展開』東京大学出版会

[2003 b] 「宮廷芸術の誕生——近世スベイン」樺山敏一編『天皇と王権を考える 6 表  
徴と芸能』岩波書店

林邦夫 [1977] 「16世紀における新大陸貿易とスベインの国家財政」『史学雑誌』86-2

ペナサル, B. [2003] 宮前安子訳「スベイン人 16-19世紀の行動と心性」彩流社

宮崎和夫 [1996] 「モリスコ社会とキリスト教社会」『歴史学研究』690

[1999] 「フェリペ4世期の宮廷社会の諸問題」『スベイン史研究』13

宮前安子 [1983] 「16世紀スベイン異端審問の展開——モリスコ問題とカステラーヤ異端審  
問」『西洋中世のキリスト教と社会』刀水書房

<欧文文献>

Cruz, A./Perry, M. E. 編 [1992] *Culture and Control in Counter-Reformation Spain*, Univ.  
of Minnesota Press, Minneapolis.

Elliott, J. H. [1992] "A Europe of Composite Monarchies", *Past & Present*, 137.

Haliczer, S. [1981] *The Commens of Castile. The Forging of a Revolution, 1475-*

*1521*, The Univ. of Wisconsin Press, Wisconsin.

Henningesen, G./Tedeschi, J. 編 [1986] *The Inquisition in Early Modern Europe. Studies*

*on Sources and Methods*, Northern Illinois Univ. Press, Dekalb, Illinois.

Kagan, R. L./Parker, G. 編 [1995] *Spain, Europe, and the Atlantic World: essays*

*in honour of John H. Elliott*, Cambridge Univ. Press, Cambridge.

Kamen, H. [1983] *Spain, 1469-1714. A Society of Conflict*, Longman, London.

[1988] *Golden Age Spain*, Macmillan, London.

Lumenfeld, M. [1987] *Keepers of the City. The Corregidores of Isabella I of Castile*  
(1474-1504), Cambridge Univ. Press, Cambridge.

Nader, H. [1990] *Liberty in Absolutist Spain. The Habsburg Sale of Towns, 1516-1700*,

The Johns Hopkins Univ. Press, Baltimore.

Parker, G. [1979] *Spain and the Netherlands, 1559-1659; Ten Studies*, Fontana and  
Collins, London.

Stradling, R. A. [1981] *Europe and the Decline of Spain. A Study of the Spanish System,*  
1580-1720, George Allen & Unwin, London.

<2> 18・19世紀の政治と社会  
五十嵐一成 [1992] 「18世紀ガリツラにおける農村麻織物工業とその挫折」『紀要』(札幌大・  
教養) 40

岡住正秀 [1983] 「1861年のロハ峰起の研究——第一インターナショナル前夜のスベイン・フ  
ンダルツラの農民運動」『スベイン史研究』1

[1985] 「19世紀スベイン南部の農村騒擾——七月革命期(1854-56年)のフンダルツラ」  
『字部短期大学学術報告』22

[1992] 「フンダルツラ農村における失業労働者の救済措置について——グラナダ県ロハ  
市(1834-1874年)」『北九州大学外国語学部紀要』74

奥野良知 [1999] 「毛から綿へ——カタルーニヤ農村部への綿業の拡大に関する一考察  
(1779-1806)」『スベイン史研究』13

北原仁 [1991] 「スベインの1812年憲法(カデアス憲法)とその意義」『駿河台法学』4-2

立石博高 [1982] 「『エスキララチエ暴動』の解釈をめぐる」『人文学報』(東京都立大) 154

[1984 a] 「カンポマナーネスの工業振興論」『スベイン史研究』2

[1984 b] 「炎のイベリヤ半島——スベイン独立戦争とウエリントン」志垣嘉夫編『ナポ  
レオンの戦争』講談社

[1990] 「啓蒙スベインとアメリカ植民地」内田勝敏編『世界経済と南北問題』ミネル  
ザラ書房

[1994] 「フンダルツラ・レジスタンス期のマドリッド市会」柴田秀藤/立石博高/大内一『もろ  
ひとつのスベイン史——中近世の社会と国家』同朋舎出版

[1996] 「スベインの自由主義とカデアス議会」暹塚忠躬/松本彰/立石博高編『フランス  
革命とヨーロッパ近代』同文館

——/中塚次郎編 [2002] 「スベインにおける国家と地域」国際書院

——/若松隆編 [1987] 『概説スベイン史』有斐閣

トマリソソフ, J. A. [2002] 立石博高/木下亮訳『モヤとその時代——薄明のなかの宮廷画  
家』昭和堂

中川功 [1987] 「19世紀スベインの土地所有形態」(1) 『拓殖大学論集』168

中嶋茂雄 [2000] 「カタルーニヤにおける B. C. フリババ「祖国」の受容と変容」『スベイン史  
研究』14

- 野上和裕 [1987-88] 『スペイン立憲君主政の崩壊——第一次大戦とカタルーニャの社会変動を中心として』(1)(2)『国家学会雑誌』100-7/8, 101-1/2
- ハリソン, J. [1985] 弘田嘉男訳 『スペイン経済の歴史——18世紀から現代まで』西田書店
- ベルナル, A. M. [1993] 太田尚樹/岡住正秀/立石博高/中川功/中塚次郎訳 『ラテアノン時代の経済と歴史』農文協
- 安村直己 [2002] 『交通空間としてのスペイン帝国における文化的混濁と「政治的なるもの」について』『思想』937
- 山道佳子 [1987] 『スペイン, カタルーニャの連邦共和主義, 1868-1874年——社会思想史研究の一試論』『国際学論集』(上智大) 19
- [1991] 『<研究ノート>都市住民と反教権感情の起源——バルセロナ(1789-1823)』『紀尾井史学』(上智大) 10
- [1996] 『自由主義スペインにおける異端審問所廃止をめぐって』『紀尾井史学』16
- [1997] 『「自由主義の3年間」のスペインにおける自由主義カトリズム』『スペイン史研究』11
- 若松隆 [1986] 『内戦への道——スペイン第二共和国政治史研究』未来社
- 渡邊太郎 [1991] 『<研究ノート>スペイン19世紀における軍隊の変容——プロモンシアエソトを中心に』『紀尾井史学』(上智大) 11
- 渡部哲郎 [1988] 『サビーノ・アラナのバスク民族主義思想——「近代」への抵抗の一形態』川口博編『伝統と近代』彩流社
- <欧文文献>
- Callahan, W. J. [1984] *Church, Politics and Society in Spain, 1750-1874*, Harvard Univ. Press, Cambridge, Mass.
- Herr, R. [1989] *Rural Change and Royal Finances in Spain at the End of the Old Regime*, Univ. of California Press, Berkeley.
- Holt, E. [1967] *The Carlist Wars in Spain*, Putnam, London.
- Kamen, H. [1969] *The War of Succession in Spain, 1700-1715*, Indiana Univ. Press, Bloomington, Indiana.
- Lynch, J. [1989] *Bourbon Spain, 1700-1808*, Basil Blackwell, Oxford.
- Payne, S. G. [1984] *Spanish Catholicism: An Historical Overview*, The Univ. of Wisconsin Press, Wisconsin.
- Shubert, A. [1990] *A Social History of Modern Spain*, Unwin Hyman, London.
- Thomson, J. K. J. [1992] *A Distinctive Industrialization. Cotton in Barcelona, 1728-1832*, Cambridge Univ. Press, Cambridge.
- Ullman, J. C. [1968] *The Tragic Week: A Study of Anticlericalism in Spain, 1875-1912*, Harvard Univ. Press, Cambridge, Mass.
- Walker, G. J. [1979] *Spanish Politics and Imperial Trade, 1700-1789*, Macmillan, London.
- <3> 20世紀の政治と社会
- 石田レイ子 [1990] 『スペイン内戦とイギリス労働党——スペイン支援運動の展開と限界』『歴史評論』480
- 藤山久美子 [2004] 『1920年代スペインにおける女性の断髪化現象』『スペイン史研究』18
- 岩波徹 [1985-86] 『スペイン内乱と列強』(以下)『軍事史学』21-3・4
- グイラール, P. [1993] 立石博高/中塚次郎訳 『スペイン内戦』白水社
- 岡住正秀/中野博文/久木尚志編 [2005] 『たまたま民衆の世界——欧米における近代化と抗議運動』彩流社
- カー, E. H. [1985] 富田武訳 『コミンテルンとスペイン内戦』岩波書店
- 川成洋 [1989] 『スペイン戦争——ジャック・白井と国際旅団』朝日新聞社
- ギョナス, J. [1981] 川成洋訳 『スペイン戦争』れんが書房新社
- グレイエーレス・モリーナ, J. L. [2005] 渡辺雅哉訳 『忘れさせられたフンダシオン』皓星社
- 栗原尚子 [1988] 『スペインにおける地域開発——フロンティア体制下の経済・社会開発政策を中心に』川島哲郎/鶴澤敏編『現代世界の地域政策』大明堂
- 宍藤孝 [1966] 『スペイン戦争——フロンティアと人民戦線』中央公論社 (1989, 中公文庫)
- 編 [1979] 『スペイン内戦の研究』中央公論社
- 塩崎弘明 [1987] 『内戦とスペイン・カトリック教会——その諸相と対応』『スペイン史研究』4
- ジヤクソン, G. [1986] 斎藤孝監修, 宮下嶺夫訳 『図説スペイン内戦』彩流社
- 砂山充子 [2001] 『カルメン・デ・フルコス (コロンベネ) のフェミニズムを巡って』『人文科学年報』(専修大) 31
- スペイン史学会編 [1990] 『スペイン内戦と国際政治』彩流社
- ソベニャ, J. 編 [1980] 『スペイン人民戦線資料』法政大学出版局
- 高橋昌子 [1990] 『冷戦の進行とアメリカの対スペイン政策 1945年-1953年』『国際関係学研究』(津田塾大) 17別冊
- 竹中克行 [1998] 『スペイン・カタルーニャにおける人口流入と社会変容』宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院
- 立石博高 [2005] 『帝国の記憶とスペインの国民国家』松本彰/立石博高編『国民国家と帝国——ヨーロッパ諸国民の創造』山川出版社
- /中塚次郎編 [2002] 『スペインにおける国家と地域』国際書院
- 千葉淳子 [2001] 『スペインにおける優生学と女性』『スペイン史研究』15
- 戸門一衛 [1984] 『<研究ノート>経済安定化計画の導入背景と展開——フロンティア体制最大の経済転換』『スペイン史研究』2
- 中塚次郎 [1980] 『フロンティアにおける武装蜂起とコミュニティ』『史学雑誌』89-8
- [1984] 『スペイン社会党左派と人民戦線——革命理論の問題を中心として』『歴史学研究』528
- [1985] 『1936年5月CNTサラゴサ大会——スペイン内乱前夜のフナルコサンデイカリスト』『山形大学史学論集』5
- [1987] 『スペイン内乱における共産党の土地・農民政策』『スペイン史研究』4
- [1996] 『フロンティア独裁(1936-1975年)』『歴史学研究』690
- [1997] 『農村におけるフロンティア』小岸昭他編『フロンティアの想像力』人文書院
- [1999] 『地中海的規範とフンダシオンの農民運動』歴史学研究会編『社会的結合と民衆運動』青木書店
- ナッシュ, M. 編 [1983] 川成洋/長沼裕子訳 『自由な女——スペイン革命下の女たち』彩流社

- パズ, A [2001] 渡辺雅哉訳『スペイン革命のなかのドゥルルテイ』れんが書房新社
- 花谷(眞下)智枝子 [1984] 『スペイン南部におけるFNTTの運動——第二共和政の農業政策をめぐって』『国際関係学研究』(津田塾大) 10 別冊
- 坂東省次/浅香武和編 [2005] 『スペインとホルトガルのことば』同社
- ピットリバーズ, J・A [1980] 野村雅一訳『ソエラの人びと——スペイン・アンダルシア民俗誌』弘文堂
- 深澤安博 [1989] 『内戦中のスペイン銀行労働者——戦争と経済再建・変革』『史学雑誌』98-8
- [1990] 『スペイン内戦における反乱派政権の対外経済政策——外貨委員会の活動を中心に』『歴史学研究』614
- [2000-01] 『スペイン内戦とモロッコ』(中)『人文科学論集』(茨城大) 33, 34, 35
- フレージャー, R [1975] 高橋敦子訳『スペイン タホス村繁盛記——飢えと内乱から観光へ』平凡社
- ペイロン, S・G [1982] 小箕俊介訳『フアラソ〜党』れんが書房新社
- ボロテン, B [1991] 渡利三郎訳『スペイン革命——全歴史』晶文社
- マルティネス=セラノ, J・A他 [1987] 楠貞義訳『現代スペイン経済——1960年から80年まで』新評論
- 武藤祥 [2003] 『フランソコ体制の形成——「安全」と「正統性」をめぐって, 1939-1947』『国家学会雑誌』116-3/4
- 八嶋由香利 [2002-03] 『スペインにおける地域ナショナリズムと諸社会層』『史学』(三田史学会) 71-4, 72-1
- 若松隆 [1986] 『内戦への道——スペイン第二共和国政治史研究』未来社
- [1992] 『スペイン現代史』岩波書店
- 渡辺雅哉 [2004] 『デイトス・デル・モラールと「アンダルシア」の農業問題』小倉敏一編『ヨーロッパの分化と統合』太陽出版
- 〈欧文文献〉
- Payne, S. G. 編 [1976] *Politics and Society in Twentieth-Century Spain*, New Viewpoints, New York
- 〈コラム スペインと北アフリカ問題〉
- 佐藤健太郎 [2004] 『近現代スペインのフアラソ学——「アンダルス」あるいは「ムスリム・スペイン」へのまなざし』『現文研』10
- 立石博高 [2005] 『文学作品とその時代, そしてコメンタレイション』『スペイン史研究』19
- 深澤安博 [2002] 『20世紀初頭のスペインのフアラカニスモ』(中)『人文科学論集』(茨城大) 37, 38
- [2000-01] 『スペイン内戦とモロッコ』(中)『人文科学論集』(茨城大) 33, 34, 35
- ゾロデル, F [1991-95] 浜名優美訳『地中海』全5巻, 藤原書店
- 宮崎和夫 [2002] 『スペイン王権支配下のグラナダ「王国」と地中海交易』深沢克己編『国際商業』ミネルヴァ書房
- [2003] 『ハナスツルル朝スペインと地中海』歴史学研究会編『地中海世界史2 多元的世界の展開』青木書店

## 〈欧文文献〉

- Leouyer, M. C./Serrano, C. [1976] *La guerre d'Afrique et ses repercussions en Espagne: ideologies et colonialisme en Espagne, 1859-1904*, Presses universitaires de France, Paris.
- Martin Corrales, E. [2002] *La imagen del magrebí en España: una perspectiva histórica, siglos XVI-XX*, Ediciones Bellaterra, Barcelona.

## 第9章 家族・女性史研究の諸問題

- 〈1〉 西欧的世帯形成システムと家族の社会史
- 足立芳宏 [2004] 『戦後東ドイツ農村の難民女性問題』『社会科学』(同志社大) 72
- アリエス, Ph [1980] 杉山光信他訳『く子供』の誕生——アンジヤン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房
- 飯田恭 [1999] 『農場・財産・家族 1700-1820年——フアラソツルルクの二村落マソカーとヴストラウ(ルベソ郡)の対比』『経済研究』(成城大) 144
- [2002] 『18世紀フアラソツルルク農村における家族・親族・階層——ルベソ郡の事例を中心として』『土地制度史学』176
- 飯塚信雄 [1986] 『男の家政学——なぜく女の家政』になったか』朝日選書
- 石部雅亮 [1982] 『ドイツ三前期の家族法』『家族史研究』5, 大月書店
- 一條和生 [1990] 『ドイツ社会政策思想と家内労働者問題』御茶の水書房
- ザイルヘルム=ブリソグナー, P [2003] 糟谷理恵子他訳『メルリンソロン』鳥影社
- ヴェーバー, M [1963] 大久保和郎訳『マックス・ヴェーバー』1・2, みすず書房
- ヴェーバー=ケラーマン, I [1991] 鳥光緒子訳『ドイツの家族——古代ゲルマンから現代』勁草書房
- 岡田英己 [2001] 『ヴァイマル期におけるA・ザロモンの社会事業理論』『人文科学』(京都大) 319
- 北村陽子 [1999] 『第二帝政期フアラソツルルトにおける住宅政策と家族扶助』『史林』82-4
- 黒田多美子 [1988] 『ドイツ第二帝制期における女性教員の立場』『ドイツ学研究』20
- 斉藤哲 [2004] 『東ドイツにおける消費生活の変化』『政経論叢』(明治大) 72-2
- 斎藤修 [1985] 『プロト工業化の時代——西欧と日本の比較史』日本評論社
- [1992] 『家族史と歴史人口学』『社会経済史学の課題と展望』有斐閣
- 編 [1988] 『家族と人口の歴史社会学——フアラソツルルグ・グループの成果』リテロポート
- 酒井綱紀 [2001] 『バイエルン王国の1834年定住・婚姻関係法と農業奉公人』『土地制度史学』173
- ショーター, E [1987] 田中俊宏他訳『近代家族の形成』昭和堂
- 杉田孝夫 [1991] 『ライヒテの家族観』『お茶の水女子大学人文科学紀要』44
- 杉田弘子 [1982] 『ドイツの女——フアラソツルルク家を中心に』『女の文化人類学——世界の女性はどう生きているか』弘文堂
- ストーン, L [1991] 北本正章訳『家族・性・結婚の社会史——1500-1800年のイギリス』勁草書房